

2021年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 特別選考入学試験問題

〔小論文〕 【学校教育専攻】

解答上の注意

1. 解答用紙の所定欄に、受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
2. 解答用紙が複数枚配付された場合、ホッチキスははずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
3. 問題用紙は「2枚」（本ページ含む）、解答用紙は「1枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2021年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 特別選考入学試験問題

[小論文]

【学校教育専攻】

問題 以下の7題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) 「総合的な学習の時間」(高等学校は「総合的な探究の時間」) に関して各学校で「目標」を定める際に配慮すべき事項について説明しなさい。また、その「目標」が学習活動を通じて児童・生徒にどの程度達成されているか、あなた自身の勤務校におけるこれまでの取り組みを分析して現状と課題について論述しなさい。
- (2) 日本の教育の現状をふまえ、ポストコロナにおける学校のあり方について論述しなさい。
- (3) 学校・家庭・地域の連携について、学校支援ボランティアに焦点を当てて論述しなさい。
- (4) 1990年時点で15%ほどだった女性の四年制大学進学率は、いま現在、50%近くにまで上昇している。その背景について、複数の観点から論述しなさい。
- (5) 「すべての人間に等しく最適な教授法はないこと」を前提にして、古くから適正処遇相互作用(ATI, Aptitude Treatment Interaction)の存在が指摘されている。ATIの実例をいくつか挙げ、教育界における効用、意義、留意点について論述しなさい。
- (6) 学校と学校外の結びつきを重視する「コミュニティとしての学校」について、①「学習指導要領を「学びの地図」として、家庭や地域における学びとし、学校が社会を創る」、②「学校での学びを、社会や世界とより密接に結びける」、③「学校と家庭や地域の連携・協力」の三点から、どのような学校か論述しなさい。
- (7) 学校施設の複合化について、授業を担当する教諭の立場から、その長所と短所の両面について論述しなさい。